

No.22

2004年11月発行

淀川水系 流域委員会 猪名川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第22回猪名川部会の内容…………… P. 1
- 第22回猪名川部会の説明資料より抜粋…………… P. 3
- 配付資料リスト…………… P. 7
- 猪名川部会 委員リスト…………… P. 8
- これまで開催された会議等について…………… P. 9
- 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法・ご意見受付…………… P. 10

平成16年10月21日（木）、第22回猪名川部会が開かれました。



【天満研修センター 101ホールにて】

第22回猪名川部会の内容

台風23号における猪名川流域の状況及び、河川整備計画の進捗状況について説明が行われた後、委員との意見交換が行われました。

第22回猪名川部会結果概要

庶務作成

開催日時：2004年10月21日（木） 15：00～18：00
場 所：天満研修センター 101ホール
参加者数：委員10名、河川管理者9名、一般傍聴者48名

1. 決定事項

- ・ 次回の部会は11月2日（火）16：00～19：00で天満研修センターにて開催する。
- ・ 河川整備計画進捗状況への意見をとりまとめるために部会検討会を下記の日程で開催する。
 - 10/25（月） 10：00～12：30 マイドーム大阪
 - 10/28（木） 10：00～14：30 みずほ情報総研 会議室
 - 11/2（火） 10：00～15：00 天満研修センター

2. 審議の概要

①河川整備計画基礎案に係る平成16年度事業の点検について

審議に先立って、河川管理者より、台風23号における猪名川流域の状況についてビデオとスライドを用いて説明が行われた後、資料1「河川整備計画進捗状況報告項目」について説明が為され、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り（例示）。

○ [計画-1 河川レンジャー] について

- ・ 河川管理者は、「なぜ河川レンジャーが必要なのか」「なぜ住民と連携していかなければならないのか」、その理由や目的についてあらためて確認して欲しい。河川レンジャー準備会の形態を見る限り、うまく実現できないのではないかと危惧している。準備会が活動内容等を提案するのではなくて、河川管理者自身が具体的な住民との連携方法や明確な河川レンジャー像を持っておくべき。
- ・ 河川レンジャーについては、河川毎に現地で実際に試行しながら進めていくほかに思う。その中で地域的な特性も考慮していけばよい。最初から決めつけることはできない。

○ [環境1～72 河川環境] について

- ・ 水質について、指標を決めてチェックしてほしい。節水キャンペーンの説明があったが、変化しているのは水量だけではない。水質も悪化している。
- ・ 河川敷公園が10月に更新時期をむかえたと思うが、結果を教えて欲しい。
 - ←河川保全利用委員会で今後の方向性等を考えていきたい。今後の河川敷公園のあり方等について、利用者と合意形成をしながら、根気よく進めていくしかないと思っている（河川管理者）。
- ・ 河川敷に街路樹や野球場をつくるから河川の環境が破壊されてしまう。河川敷公園のメリットは確かにあると思うが、河川にある公園の姿がどうあるべきか、河川管理者は考えないといけない。

○ [治水-3 排水機場運用の検討] について

- ・ ポンプ排水調整の影響について検討結果が出されているが、下流のために一部の人の犠牲になってもらうということなのか。
 - ←下流で破堤すれば上流も協力してもらうというのが今回の検討の目的となっている。ただ、この内容で運用するというのではなく、検討結果の1つとして示した（河川管理者）。

○ [利水-1 利水者の水需要精査確認] について

- ・ 余野川ダム の検討では、大阪府営水道の水需要の精査確認結果が非常に重要になってくる。検討に間に合うよう、できるだけ急いで提出して欲しい。
- ・ 節水キャンペーンのラジオCMの内容について疑問に思う。川や湖に生物が棲めなくなったのは、水をたくさん使うようになったからではなく、人間の都合（治水・利水）で水をコントロールするようになったからだ。科学的に検証した上でCMをつくるべき。
- ・ 節水キャンペーンは、単なるキャンペーンで終わらせたくないよう、継続して取り組んで欲しい。また、何年先に何%の節水を実現するのか、数値目標を持った取り組みをお願いしたい。

○ 堤防強化について

- ・ 猪名川で最初に実施することになっていた善法寺地区の堤防補強はどうなっているのか。
 - ←設計が遅れている。善法地区寺の堤防強化に関しては、基準値に満たない箇所について洗掘と浸透対策を施す。現在、緊急区間として5kmの範囲で10カ所を選定し地質調査等を行っている。地元住民へは、一部ではすでに説明をさせて頂いている（河川管理者）。

②ダムWGについて

- 余野川ダムサブWG本多サブリーダーより、検討状況について中間報告が為された後、主に余野川ダムについて意見交換が行われた。
- ・ 一庫ダムの利水容量を府営水道へ振り替えることができれば、余野川ダムの狭窄部上流への治水効果は失われることになる。問題は、狭窄部上流の浸水被害を軽減するための一庫ダム利水容量の振替先であって、余野川ダムとは切り離して考えなくてはならない（ダムWGリーダー）。
 - ←現在、狭窄部上流の目標洪水規模の再検討を進めており、これにあわせて、一庫ダムから余野川ダムへの利水容量の振替が有効かどうかとも検討し直している（河川管理者）。
- ・ 猪名川下流域の既往最大の実績洪水における検討結果がいまだに出されていない。下流域の検討を進めるために至急資料を提出頂きたい（ダムWGリーダー）。
- ・ 第4回ダムWGの資料1-7では、昭和28年9月洪水を対象に余野川ダムの効果について説明されているが、1.0倍の検討結果が示されていない。「1.0倍では堤防が破堤せず被害が発生しないから資料に掲載しなかった」というのは絶対におかしい。あらためて、検討結果を示すよう要請する。
- ・ 天端一余裕高で破堤するという条件で昭和35年8月洪水1.0倍をシミュレーションした結果、下流で破堤するという結果が示されているが、当時は破堤しなかった。昔に較べて整備が進んでいるにもかかわらず、破堤してしまうという検討結果はおかしい。河川管理者には現在の整備状況で既往最大の実績洪水を対象にした検討結果を示して頂きたい（ダムWGリーダー）。

3. 一般傍聴者からの意見聴取

- 一般傍聴者2名より発言があった。主な意見は以下の通り（例示）。
- ・ 猪名川部会委員には反省して頂きたい。全く議論になっていない。また、止々呂美地区で行われた余野川ダムの住民説明会にどれだけの委員が出席したのか。委員にはもっと勉強して頂きたい。
- ・ ダムの報告を出そうという局面において、この程度の議論をしてはいけな。ダムWGと同レベルの議論をして欲しい。ダムの検討に必要な資料についても、あらかじめ河川管理者と打ち合わせをした上で議論をして頂きたい。

4. 台風23号に関する報告

河川管理者より、近畿管内における台風23号の概況について報告が行われた。兵庫県、由良川、加古川において浸水被害が発生しており、被害状況については後日あらためて報告する旨のコメントがあった。

以上

※議事内容の詳細については「議事録」をご確認下さい。最新の結果報告及び議事録は、ホームページに掲載しております。

第22回猪名川部会の説明資料より抜粋

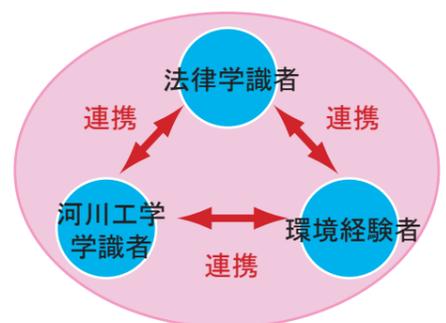
第22回猪名川部会では、資料1「河川整備計画進捗状況報告項目」を用いて河川管理者より説明がなされた後、意見交換が行われました。以下に、資料より一部を抜粋して掲載いたします。

□詳細報告内容
(調査・検討項目)

整備内容シート番号	記載箇所	事業名	該当事務所	委員会等	猪名川ダイジェスト版記載頁
計画-1	5.1.2(2)	河川レンジャー	猪名川	河川レンジャー準備会	P.1
環境-1~72	5.2(3)	河川環境	猪名川	猪名川自然環境委員会	P.2~7
治水-1~4	5.3.1(1)	水害に強い地域づくり協議会(仮称)	猪名川	水害に強い地域づくり協議会(仮称)	P.8 P.9
治水-3	5.3.1(1)	排水機場運用の検討	猪名川	猪名川排水ポンプ場運転調整連絡協議会(仮称)	P.9
利水-1	5.4(1) 5.7.2(5)	利水者の水需要の精査確認	淀川統合		P.14
利水-2	5.4(2)	水利権の見直しと用途間転用	淀川統合		P.14
利水-4	5.4(4)	渇水対策会議の改正を調整	淀川統合		P.14

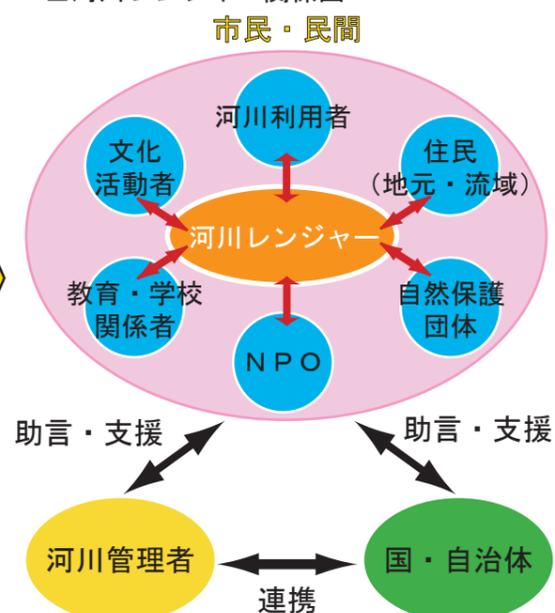
河川レンジャー

■準備会



活動内容等提案

■河川レンジャー関係図



河川環境

第3回猪名川自然環境委員会(開催結果報告)

【おことわり】

この報告は速報です。自らのメモをもとに猪名川河川事務所の判断で発言を要約したものであり、各委員の確認は受けておりませんのでご了承ください。

開催日時：平成16年10月19日(火)

9:30~

出席委員：森下委員長、池淵委員、角野委員
斉藤委員、菅原委員、竹門委員
服部委員、松井委員



審議内容

◆目標設定に関して

- 1) ポピュラーな種を含めたピラミッド形の生物群集全体をみる。
- 2) それぞれの種を支えている環境を把握する。
- 3) 個々の地区が、どのような位置を占めるのか把握。
- 4) 人口、工業生産額、農地面積などの変遷を踏まえた新しい視野でみる。
- 5) 外来種は取り除くことを考える。抑制後の予測を立てる。
- 6) 過度の攪乱は良くない。攪乱がどの程度有意義なのかを予測。
- 7) 下水処理水の自然界を活用した更なる浄化。

◆工事施工に関して

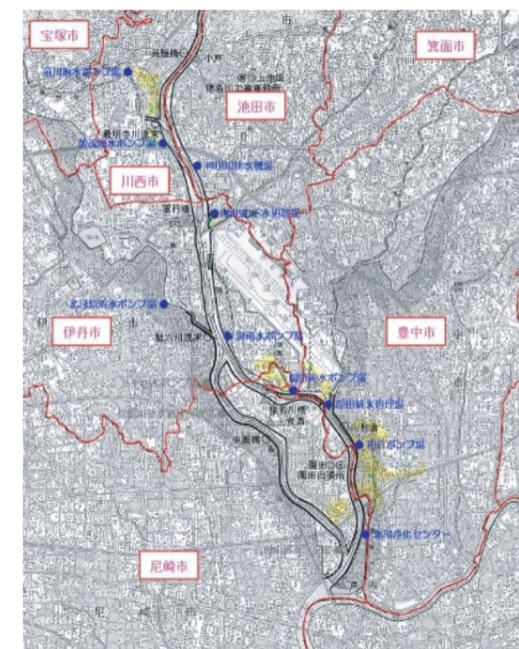
- 1) 調査結果の解析と評価をする。
- 2) 保全や回復することを意識する。
- 3) 堤防植生のテーマ設定と、その見通しを立てる。

排水機場運用の検討

■ポンプ排水調整の影響

■ポンプ排水調整を行った場合の内水被害の予測
(S42.7洪水型×1.0のケース)

市名	最大浸水深(m)	浸水面積(ha)	浸水人口(人)	浸水世帯数	
				床上	床下
豊中市	0.919	98	5,704	36	2,423
池田市	—	—	—	—	—
尼崎市	0.644	26	2,175	1	968
伊丹市	0.848	16	104	6	36
川西市	0.946	31	1,816	34	730
合計	—	171	9,799	77	4,157



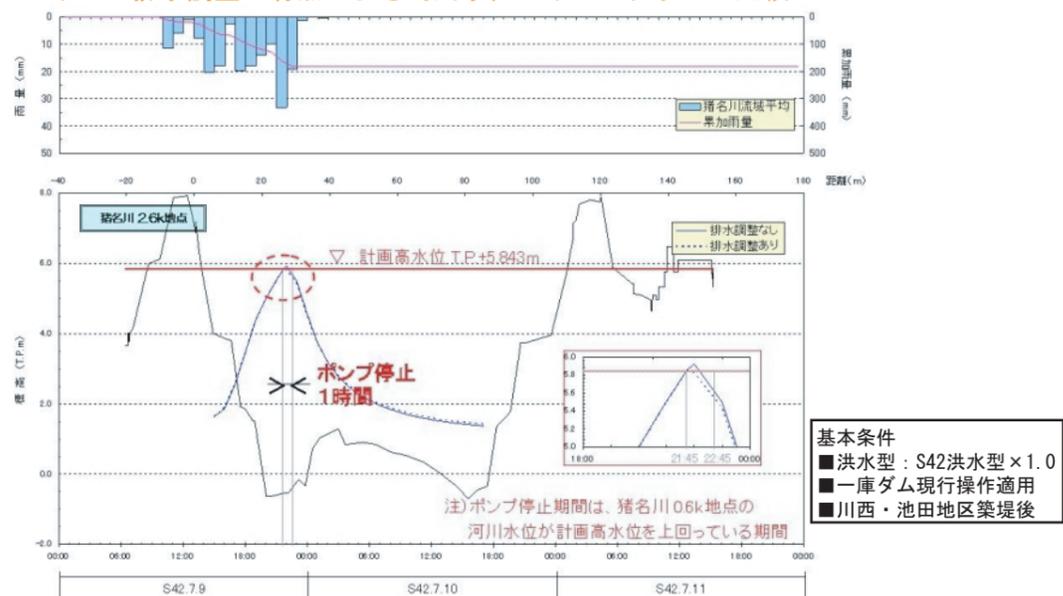
※本ケースによる池田市の被害はなし

※本シミュレーション結果は、現在検討途上のものであり、確定値ではありません。

■ポンプ排水調整の影響

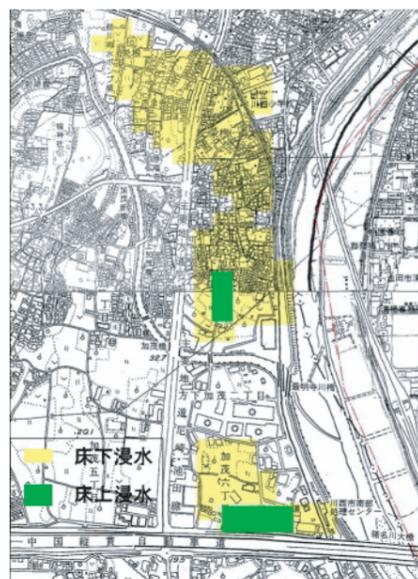
S42.7洪水を対象に、「地先の安全確保を優先に考えて排水調整を行わなかった場合」と「流域全体の安全確保を優先に考えて排水調整を行った場合」の河川水位について、比較してみました。

■ポンプ排水調整の有無による河川水位ハイドログラフの比較



※本シミュレーション結果は、現在検討途上のものであり、確定値ではありません。

■ポンプ排水調整の影響



浸水面積：31ha
 浸水人口：1816人
 最大浸水深：0.95m
 浸水世帯数
 床上：34
 床下：730

■課題
 避難経路、避難場所、住民への周知
 浸水被害補償、責任の所在

■対策
 流域での貯留施設等の対策
 内水被害の補償制度の検討

利水者の水需要の精査確認

●具体的な整備内容

利水者の水需要（水利用実績、需要予測（水需要抑制策を含む）、事業認可及び事業の進捗状況、水源状況等）について早急に精査確認し、適切な水利権許可を行うとともに、その結果を公表し具体的な水需要抑制施策に資する。

淀川水系水利権数（直轄処分）

- ・水道用水 48件
- ・工業用水 28件
- ・発電用水 34件
- ・農業用水 116件（内：慣行 48件）
- ・その他用水 15件

○利水の水需要精査確認状況

各利水者からヒアリング等を行い水需要精査を行っていますが、現在、水需要を精査検討中の利水者もあることから、精査確認は未了。

（ヒアリング内容）

- ・給水人口
- ・有収水量
- ・有収率
- ・負荷率
- ・浄水ロス率
- 等

ダム参画利水者の需要見直し等の状況

利水者	現在の計画	需要見直し等の状況
三重県営水道 (伊賀用水供給事業)	川上ダム：0.6m ³ /s	・需要見直しを実施 48,500m ³ /日→28,750m ³ /日 ・県の公共事業評価委員会を経て水道事業の「事業継続」を決定
奈良県営水道	川上ダム：0.3m ³ /s	・川上ダムの利水参画から撤退する方向で協議申し入れ ・需要見直しの検討を開始
西宮市	川上ダム：0.211m ³ /s	・需要見直しの検討を開始
京都府営水道	丹生ダム：0.2m ³ /s 大戸川ダム：0.1m ³ /s 天ヶ瀬再開発：0.6m ³ /s	・需要見直しの検討を開始（水需要予測に関する専門会議を発足）
大津市	大戸川ダム0.0116m ³ /s	
大阪府営水道	丹生ダム：2.474m ³ /s 大戸川ダム：0.4m ³ /s	・丹生ダム・大戸川ダムの利水参画見直しについて協議申し入れ ・需要見直しの検討を開始（大阪府水道部経営・事業等評価委員会水需要部会を設置）
阪神水道企業団	丹生ダム：0.556m ³ /s 余野川ダム：1.042m ³ /s	・丹生ダム・余野川ダムの利水参画見直しについて協議申し入れ ・需要見直しの検討を開始
箕面市	余野川ダム：0.116m ³ /s	・余野川ダムの新規利水について大阪府営水道から受水でまかなう意向

【平成16年10月13日現在】

配付資料リスト

●第22回猪名川部会 配付資料

資料リスト		資料請求 No
議事次第		i22-A
資料1	河川整備計画進捗状況報告項目	i22-B
資料2	余野川ダム検討と議論の状況中間報告 (本多委員メモ)	—
資料3	委員会における今後のスケジュール	i22-C
参考資料1	委員および一般からのご意見	i22-D

注：資料2は、一般傍聴者に配付されませんでした。

注：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP. 10の「配付資料及び意見書の閲覧・入手方法」をご覧ください。

猪名川部会 委員リスト

2004. 10. 20現在
(五十音順、敬称略)

NO.	氏名	対象分野	所属等	備考(兼任)
1	池淵 周一 (利水部会長)	水資源 (水文学、水資源工学)	京都大学防災研究所 教授	治水部会 利水部会
2	田中 哲夫	漁業関係 (魚類生態学)	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 助教授	環境・利用部会
3	畑 武志	農業関係	神戸大学農学部 教授	住民参加部会
4	服部 保	植物 (植物生態学)	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授	環境・利用部会
5	畚野 剛	地域の特性に詳しい委員	川西自然教室 代表	治水部会
6	細川 ゆう子	地域の特性に詳しい委員 (住民運動)	猪名川の自然と文化を守る会	環境・利用部会 利水部会
7	本多 孝	地域の特性に詳しい委員 (環境教育、人と自然のかかわり)	みのお山自然の会 会長	住民参加部会
8	松本 馨	地域の特性に詳しい委員 (地域自然保護活動、淡水生物調査、 環境(自然保護)教育)	池田・人と自然の会 代表	住民参加部会
9	森下 郁子	動物	大阪産業大学 人間環境学部 教授	治水部会
10	矢野 洋	水質	神戸市水道局技術部調査役	環境・利用部会
11	米山 俊直 (猪名川部会長)	水文化	京都大学 名誉教授 国際京都学協会 理事長	住民参加部会

●猪名川部会以外の参加委員

No.	氏名	対象分野	所属等	備考(兼任)
1	今本 博健	洪水防御 (河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授	淀川部会 治水部会 利水部会
2	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民	淀川部会 環境・利用部会 治水部会

注：対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

これまで開催された会議等について

第22回猪名川部会（平成16年10月21日）までに、以下の会議が開催されています。

委員会	琵琶湖部会	淀川部会	猪名川部会
第1回 ～第6回 平成13年開催	第1回 ～第8回 平成13年開催	第1回 ～第10回 平成13年開催	第1回 ～第6回 平成13年開催
第7回 ～第15回 平成14年開催	第9回 ～第20回 平成14年開催	第11回 ～第20回 平成14年開催	第7回 ～第17回 平成14年開催
第16回 H15/1/17 (金)	第21回 H15/1/29 (水)	第21回 H15/7/5 (土)	第18回 H15/7/1 (火)
第17回 H15/1/24 (金)	第22回 H15/5/19 (月)	第22回 H15/8/26 (火)	第19回 H15/9/2 (火)
第18回 H15/2/24 (月)	第23回 H15/6/10 (火)	第23回 H15/10/13 (月)	第20回 H15/10/9 (木)
第19回 H15/3/27 (木)	第24回 H15/7/18 (金)	第24回 H16/8/25 (水)	第21回 H16/9/1 (水)
第20回 H15/4/21 (月)	第25回 H15/8/25 (月)	第25回 H16/9/17 (金)	
第21回 H15/5/16 (金)	第26回 H15/9/24 (水)	第26回 H16/10/19 (火)	
第22回 H15/6/20 (金)	第27回 H15/10/23 (木)		
第23回 H15/7/12 (土)	第28回 H16/10/13 (水)		
第24回 H15/9/5 (金)	環境・利用部会	治水部会	利水部会
第25回 H15/9/30 (火)	第1回 H15/3/8 (土)	第1回 H15/3/8 (土)	第1回 H15/3/8 (土)
第26回 H15/10/29 (水)	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H15/3/27 (木)
第27回 H15/12/9 (火)	第3回 H15/4/10 (木)	第3回 H15/4/10 (木)	第3回 H15/4/14 (月)
第28回 H16/2/26 (木)	第4回 H15/4/17 (木)	第4回 H15/4/14 (月)	第4回 H15/9/2 (火)
第29回 H16/5/8 (土)	第5回 H15/5/29 (木)	第5回 H15/8/25 (月)	第5回 H15/10/24 (金)
第30回 H16/6/22 (火)	第6回 H15/8/25 (月)	第6回 H15/10/24 (金)	
第31回 H16/7/29 (木)	第7回 H15/10/15 (水)		
第32回 H16/8/24 (火)	住民参加部会	ダムW G	3ダムサブW G
第33回 H16/9/29 (水)	第1回 H15/2/24 (月)	第1回 H16/7/11 (日)	第1回 H16/8/7 (土)
	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H16/7/18 (日)	第2回 H16/9/11 (土)
	第3回 H15/4/11 (金)	第3回 H16/7/25 (日)	川上ダムサブW G
	第4回 H15/4/18 (金)	第4回 H16/8/19 (木)	第1回 H16/8/3 (火)
	第5回 H15/5/27 (火)	第5回 H16/9/23 (木)	第2回 H16/9/3 (金)
	第6回 H15/8/28 (木)	第6回 H16/10/4 (月)	余野川サブW G
	第7回 H15/10/23 (木)	第7回 H16/10/18 (月)	第1回 H16/8/11 (水)
			第2回 H16/9/22 (水)
その他	設立会 H13/2/1 (木)	提言説明会 H15/1/18 (土)	
	発足会 H13/2/1 (木)	しっかりしてや!! 流域委員会 H16/2/28 (土)	
	第1回 合同懇談会 H13/2/1 (木)	ファシリテーターとの 検討会 H16/5/15 (土)	
	第1回 合同勉強会 H14/4/11 (木)	大戸川、天瀬ダム意見交換 H16/9/26 (日)	
	シンポジウム H14/6/23 (日)	丹生ダム意見交換会 H16/9/27 (月)	
	拡大委員会 H14/11/13 (水)		

配付資料及び意見書の閲覧・入手方法

以下の方法で資料及び意見書を閲覧、または入手することができます。ただし、以下の点にご注意下さい。
 ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。
 ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

ホームページによる閲覧

配付資料及び意見書は、ホームページで公開しております。

郵送

郵送による配付資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。（希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。）ご希望の方は、FAXまたは郵送、E-mailで庶務までお申し込みください。

閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

「意見書」の入手

意見書の送付を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号と「意見書希望」を明記のうえ、下記までご連絡ください。
 ※頂いた個人情報については、上記資料及び意見書の送付のみに使用させていただきます。

ご意見受付

淀川水系流域委員会ではみなさまのご意見を募集しています。
 ホームページ、E-mailまたはFAXにてお寄せ下さい。

※氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号をご記入のうえ、下記までお寄せ下さい。
 ※寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。
 ※ご意見を公表する場合には、団体・会社名（または居住地）とお名前も公表いたしますので予めご了承下さい。
 ※ご記入いただいた個人情報については、上記の意見の公表のみに使用させていただきます。

■ホームページ <http://www.yodoriver.org>

■E-mail yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

■TEL 06-6222-5870

■FAX 06-6222-5871

淀川水系流域委員会 庶務
みずほ情報総研（株）



淀川水系流域委員会 猪名川部会ニュース No. 22

2004年11月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

みずほ情報総研 株式会社

.....
研究員：吉岡、篠田、鈴木、熊谷、松本

事務担当：山根

〒542-0042 大阪市中央区今橋4-2-1 (大阪富士ビル8階)

TEL: (06) 6222-5870 FAX: (06) 6222-5871

E - mail : yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

●流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

◆ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局／淀川河川事務所／琵琶湖河川事務所／大戸川ダム工事事務所／淀川ダム統管理事務所／猪名川河川事務所／猪名川総合開発工事事務所／木津川上流河川事務所／水資源開発公団 関西支社／滋賀県 土木交通部河港課／京都府 土木建築部河川課／大阪府 土木部河川室／兵庫県 土木部河川課／奈良県 土木部河川課／三重県 伊賀県民局 等

*ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。